

令和6年度港湾運送業若年者理解・入職促進事業(厚生労働省交付金事業)

みなとdeワーク事業のご案内

「人々の暮らしに貢献」、
「物流を支える」港のしごと



「みなとdeワーク事業」とは

高等学校の生徒等(教師・保護者を含む)をはじめとする若者が、港湾運送業界(企業・団体)と接する機会を提供することにより、生徒側の港湾運送業に対する理解を深め、若年者の入職を促進することを目的とした事業です。

未来を担う高校生などの若者のみなさんに、港湾運送業の仕事・職場の実態・魅力を知ってもらう機会を提供するものです。

「港湾運送業」とは どんな仕事

我が国は、資源のほとんどを海外から輸入しています。その輸出入の99%以上(重量)を海上輸送が担っており、港湾運送業は、我が国の物流、ひいては経済活動全体の要の役割を担うものとして、海上輸送と陸上輸送(トラック、鉄道等)を円滑に結びつける、ハブの位置づけを有する事業です。

ひとことで「港湾運送業」といっても、事業内容や関連する職種は多岐に亘り、それぞれが高度な専門性を要するもので、主な仕事として、「沿岸荷役作業」、「船内荷役作業」などがあります。

★「沿岸荷役の作業」では、岸壁側や埠頭ターミナルなどでフォアマン(作業指揮監督者)の指示を受けながら、岸壁と屋根がついた貨物置場や荷さばき地、野積場の間で貨物の運搬や搬出を行い、荷さばき地では、貨物の積み上げと取り崩し、仕分けなどの荷さばき作業を行います。この作業において、ショベルローダー、リーチスタッカー、ストラドルキャリアーなどの重機や港湾内の運搬・回送するために大型自動車が使われます。



★「船内荷役の作業」は、デッキマン(作業指示者)の合図により、本船上のクレーン、ガントリークレーン、フォークリフトなどの重機を運転操作して貨物の積み卸しを行います。

実施する取り組み

○出前授業

地域の港湾運送業界の企業・団体が学校を訪問し、港湾運送業の仕事内容やその魅力、職場環境などを紹介します。

港湾運送業の仕事をより具体的にイメージしてもらい、その魅力を知ることができます。



○職場見学・説明会

港湾で港湾運送業が請け負っている仕事の現場を見学してもらい、港湾運送業で働く人たちの実際の就労環境、仕事内容や使用重機などを目で見て肌で感じることができます。

また、生徒によるシミュレータを使用した港湾荷役機器オペレーションの模擬体験をしてもらう取り組みを行います。

参加対象者

- ・高等学校等の関係者（生徒・教師・保護者等）
- ・港湾運送事業者(関係者)

学校教育との関係

本事業は、学校側の職業教育・キャリア教育上の枠組み、位置づけを十分意識し、また、学校側の意向・希望などを十分に踏まえ、取り組み内容を調整の上、設定するものです。

本事業の参加により、普段目にする機会の少ない、また、日々の生活や経済活動を支える港の仕事に直接接することで、生徒が進学や就職などの選択に加え、現代社会の諸課題や社会の一員としての生き方などについて考える契機としても有効な事業と考えています。

当協会が実施に際し行うこと

- ◆ 高等学校等と港湾運送事業者との調整を行います。
- ◆ バスの借上げ、参加者の傷害保険の加入など事業の実施に係る費用を負担します。

実施の際にお願いしたいこと

- ◇ 実施前に、学校関係者と実施内容を調整させていただきます。
- ◇ 実施時に、参加者との意見交換(質疑対応等)を行います。
- ◇ 実施後に、参加者を対象にアンケートを実施・提出をお願いします。

お問い合わせ先

一般財団法人 港湾労働安定協会 各支部

- 東京支部 電話：03-3769-3621
- 横浜支部 電話：045-201-3311
- 名古屋支部 電話：052-652-9431
- 大阪支部 電話：06-6576-1122
- 神戸支部 電話：078-325-5581
- 関門支部 電話：093-321-6531



(一財)港湾労働安定協会ホームページ
<https://anteikyokai.or.jp>